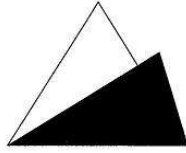


労山

おかやま



Okayama Workers'
Alpine Federation

2022年2月号 第486号

2月1日

発行 岡山県勤労者山岳連盟

HP <http://okayamakenren.web.fc2.com/>

編集：岡山県連盟機関紙委員会

(谷川治 福田豊彦 田鍋可勝 吉房一子)



2021年1月20日 大山にて (撮影 大原 剛史)

1P 表紙、目次

2P 観天望気講座報告①

みまさか 安東利治

3P 観天望気講座報告②

MONTATA 蜂谷和久

4P 県連50周年記念講演会案内

5P 雪山講習会案内(3月開催)

6P 雪山講習会案内(2月開催補足)

7P 登山時報拾い読み(1月号)

8P 山の会の文化系サークル紹介

KHC 谷川 治

9P 理事会報告(第7回)

10P 行事予定・編集後記

観天望気講座を受講して

みまさか山の会 安東利治

観天望気講座の案内が「労山岡山」に掲載されている、仲間を誘い迷わず受講を申し込む。毎月開かれる月例学習会で年に一回は天気図の勉強をしているが基礎的な事が理解できず、今日に至っている。講師の猪熊隆之さんは山の天気アプリ「ヤマテン」を運営されている会社のトップの方なので非常に楽しみにしていました。

午前中は金山にある「高野ちびっこ広場」で空に浮かぶ雲を見ながら観天望気、湧きあがって来る雲、上空を流れてゆく雲、地上の熱、海面の熱による上昇気流に伴い発生する雲等様々な雲の発生するメカニズム等の説明、質疑応答で時間が過ぎて行きました。雲は上にやる気で成長する時に天気が不安定になる。山の天気は西と北の空の雲に注意する（分厚く、広く、濃い色の雲は天候悪化の兆し）等を学びました。

前回参加した気象講座は街中のビルに挟まれた駐車場での観天望気と比べて非常に良いロケーションでした。

午後は会場を伊島町の「生涯学習センター」移しての座学です。コロナ対策でマスクと室内換気そして受講生間の距離離しての学習会です換気による寒気が少し応えます。山の天気予測で想定外のリスクを減らし、想定内を広げる登山計画について学びます。現在の天気予報は平地や山麓のもの。天気予報では同じ雨でも小雨なのか大雨なのか晴れでも風が強いか弱いかにより気象リスクが大きく異なるにも関わらず、お天気マークや登山指標ではそれが分からない。また登山ルートによっても気象リスクは大きく異なる。このような事から気象リスクを減らすための①山の天気の基本②怖い気象遭難・低体温症の事故③観天望気を約3時間学ぶことができました。まとめとして・「登山中は観天望気から天候の急変をいち早く察知」・「計画段階で登山ルート上のリスク、引き返しポイント設定」・「低体温症のリスクの高い気圧配置を覚える」・「地上天気図から風向・風速を読み取る方法をマスター」等4点の事柄について今以上に興味をもちながら少しずつ天気の知識を広げ安全登山に繋がりたいと感じました。



県連安全登山講習④ 気象講座 2022年1月15日(土) 受講者 43名

内訳・・・岡労 2・倉労 3・みまさか 2・KHC 17(座学 2)・PFC 1・SCMC 14・NHC 2・MONTATA 2

県連安全登山講習④ 気象講座「観天望気」

MONTATA 蜂谷和久

1月15日(土) 午前：観天望気 9:30～11:00

岡山市高野地区（端的に言うと岡山県運転免許センターの上の集落）風もなく穏やかな冬晴れのなか約40名が集まった。西と北の空が一望できる絶好の「空見（そらみ）ポイント」である。冬の澄んだ空気のため、北には毛無山と大山と思われる雪山が望め、東は那岐山あたりまで見渡せる。旧岡山市内でこんな絶景ポイントあったとは



と驚くばかり、よくこのような場所を見つけ出したものだと頭が下がる。聞けば岡山市周辺を東方西走、担当者の持ち前のフットワークとコミュニケーション能力を駆使して探しあてたベストポイントとのこと。コロナ禍でストレスたまった時はここに来ようと、講師の話聞きつつ一人ほくそ笑んでいた。講師の猪熊氏のお空大好きオーラーに包まれ会は和やかに進行する。低空に浮かんだわた雲と上空にすじ雲がある、西方には雲がわき南に流れる絶好の「空見日和そらみびより」であった。

午後：座学 13:30～16:00 生涯学習センター

今回のテーマは「低体温症を防ぐ」であった。一番の注意点は強風に吹きさらされ続けることを避ける。講習のポイントを以下に書き留める。

- ・風向きと風力を天気図から読みとる。（気圧配置、等圧線の間隔）
- ・ルートの風力は日本の地形（尾根・山脈）に大きく影響される。
- ・山行を行うルートの地形を熟知し、**現地の風向き風力を判断**する。
- ・強風で撤退するための、引き返しポイントを決めておく（尾根筋,森林限界）
- ・平地の天気では山岳部の天気は判断できない。）

低体温症の初期症状は「ふるえ」
「ふるえ」を感じたら



風の当たらないところに避難し
温かいものを飲む、体を温める。



岡山県勤労者山岳連盟創立 50 周年記念講演会のご案内

2021（令和3年）9月26日（日）に実施予定でした鹿屋体育大学教授 山本正嘉氏の記念講演会は、新型コロナウイルス感染症第5波拡大の為、止む無く延期となりました。

この講演会を楽しみに参加を申し込んで頂いていた方々から、「是非とも早急に、再実施を！」の要望がありました。この度、山本教授のご好意により、再度 50 周年記念講演会が実現する運びとなりました。

参加申し込みは、前回と同じく、先着順とさせていただきます。詳しくは所属する会・クラブの県連理事までお尋ね下さい。実施要領は、以下の通りです。

- 1) 日 時 …… 2022 年（令和 4 年）3 月 5 日（土）
9：30～受け付け開始（開場）
10：00～12：00
- 2) 場 所 …… 岡山国際交流センター 8 階イベントホール
(JR 岡山駅西口から徒歩 3 分)
- 3) 講 師 …… 鹿屋体育大学教授 山本 正嘉 氏
- 4) 講演内容 …… 演題「安全な登山のための体づくりと山での疲労対策」
- 5) 参加費 …… 無料
- 6) 募集定員 …… 140 名
- 7) 申込受付 …… 所属各会の県連理事まで（各会の所定申し込み方法による）
※ 先着順になりますので、お早めに手続きをお願い致します。
なお、新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、中止になる可能性もありますので、その時はご了承下さい。

山本正嘉氏 プロフィール



1957 年横須賀市生まれ、東京大学大学院教育学研究科修了、博士（教育学）。現在、鹿屋体育大学教授および同・スポーツトレーニング教育研究センター長。日本山岳・スポーツクライミング協会医科学委員会委員、国立登山研修所専門調査委員、日本山岳ガイド協会特別委員など。専門は運動生理学とトレーニング学。2 つの体育大学で 35 年にわたり教鞭をとり、様々なスポーツ選手に教育や指導を行うかたわらで、スポーツ種目を問わず実践現場に直結する研究論文を発表してきた。

自身の専門は登山で、ヒマラヤやアンデスでいくつかの初登攀を持つ。登山を対象とした研究、教育、指導もライフワークとして行う。主著は『登山の運動生理学とトレーニング学』『体育・スポーツ分野における実践研究の考え方と論文の書き方』など。2001 年に秩父宮記念山岳賞を受賞。

「国際山岳ガイド近藤邦彦氏による雪上技術講習会」

～参加募集案内～

2月に開催されます「雪山登山技術講習会」に引き続き、国際山岳ガイド近藤邦彦氏の指導による「雪上技術講習会」を下記のとおり開催いたします。残雪期の山に行かれる方、雪山山行をする会に所属の皆さん、技術の習得は何度も繰り返し、体で覚えることが大事です。近藤邦彦プロから技術を学べる又とないチャンスですので、是非この機会に受講して下さい。

なお、新規受講を希望される方は装備等について、受講経験者に確認されるか、下記問い合わせ先に連絡下さい。

※装備が揃っていない場合、参加資格がなくなることもありますので、ご注意下さい。

※また、申込み閉切り後のキャンセルにつきましては、キャンセル料をいただきます。

雪山登山者のための雪上技術講習会

※参加条件：クライミング能力のある人、体力のある人。

※実技講習の内容は、当日の雪質・参加者のレベルに合わせて行ないます。

■日時：3月26日(土) 8:00～15:00 大山寺情報館 集合 解散

■場所：大山元谷周辺

■内容：ピッケル・アイゼンを必要とする歩行技術(登行・下降・トラバース・斜登行)、状況判断、雪上でのザイルワーク、救助技術含む

※内容は当日の状況により変更の場合あり

〔個人装備〕 ・**冬季用登山靴**・ハードシェル上下・ウール肌着・中間着・防寒着(携帯)
・ウール手袋+(替え手袋1)・ウール靴下+(替え靴下1)・オーバーミトン
・目出帽・ピッケル・アイゼン・リュック(装備が全て入るサイズ)
・通常山行時の装備(行動食・飲料水・ヘッドライト・地図・コンパス・時計・雨具等)・**ヘルメット・ハーネス・環付カラビナ(大1枚・小2枚)**
・**カラビナ(2枚)・エイト環・シュリング(120cm 1本、60cm 4本)**
・シャベル(持っている人のみ)・雨具ズボン(着古したものか、ビニールカッパ)

〔共同装備〕 ・ツェルト(2人で1)・コンロ(2人で1)・鍋小(2人で1)
・ロープ(ダブルロープ) 2人で1本 **※会で相談して準備して下さい**

〔注意事項〕 実技講習会の当日、必要装備の点検を行います。
中間着・アウターなど、衣類のレイヤードは当日の気温・天候を見て、各自で判断して下さい。**その他不明な点については、必ず事前確認を行うこと。**

【参加費】……………3,000円

【定員】……………20人まで

【申込み先】……………各会の県連理事を通して、教育委員長 加治郷子まで。

【申込締切り】……………**2022年3月11日(金)** ※定員になり次第、締切ります

【実施内容・装備等の問い合わせ先】 conih0307@orion.ocn.ne.jp Tel.090-3746-7553 (加治)

【申込み方法】……………人数に制限がありますので、**各会の理事にご相談の上、下記の内要を明記の上、理事を通してお申し込み下さい。**

・団体名 _____ ・氏名 _____ ・性別 _____ ・年齢 _____
・郵便番号/住所 〒 _____
・電話番号(携帯) _____ (緊急連絡先) _____
・メールアドレス(添付ファイルが送れるアドレス) _____